いわき民報

發行所 いわき民報社
平市田町一〇一番地（電話三八一番）
編輯兼發行人 印刷人 千葉克己
日刊 定價 一ヶ月 五圓 一部二十錢（日曜日を除く）

簡易電氣蒸パン器
何方樣にも手輕に出來ます
自信を以てお奬め申します
▽小賣價格 金六十圓
第一通信工業株式會社
平市新川町 電六四七

能率賃金制完全に崩壞

生活資金化の性格日毎顯著

市郡下の俸給及び賃金調査

男平均七百圓臺　女は四百五十圓

賃金政策の確立のため七月末日現在を以つて凡ての工場、事業所の賃金調査を平勞働署が實施したが、影響するところが大きいとあり、その結果は極祕にされてゐる、然し大体の形勢をみると事務系統で男子の最高は千圓見當、最低六百圓程度の平均六百五、六十圓から七百五、六十圓、女子は最高九百圓、最低百五、六十圓の平均で四百圓から四百五、六十圓、一方勞務者方面は男が最高千百圓最低六百圓の平均七百六、七十圓、女子の最高八百圓の最低二百圓臺、平均四百五十圓見當で事務系統も勞務者も大きな差はなく殆んど同樣で全國六大府縣の男工賃金平均七百三十九圓三十九錢に比しても差異は余り認められない、尚この賃金は本年一月以前に較べると約二倍となつてゐて、一月以降三月迄が急カーヴの上昇率を示してゐるこれは昨秋來の物價高に影響されるところが大きかつたのに依るもので、四、五月はやゝ上昇率も鈍つたが、六月以降又上向を示してゐる、斯くて從來の能率賃金の建前は完全に崩壞し、その体系は日增しに生活資金化の性格を顯著に示して來たことは是非は別として注視されるところである

嚴密な米の作況調査

郡食糧對策專門委員會調査班が

郡食糧對策專門部委員會は既報の如く新米供出その他について種々對策を練つたが郡內七方部に分けて調査班を組織、月末までに正確な作付反別と收穫豫想の大要を得ることになり十九日から方部別に調査活動に乗り出した

▲一班四倉（大野、四倉、大浦）▲二班草野（草野、高久、夏井、神谷）▲三班平（平、飯野、鹿島、好間）▲四班赤井（赤井、上下小川）▲五班澤渡（湯本、三阪、永戸、貧輪）▲六班湯本（內鄕、湯本、磐崎、渡邊）▲七班小名濱（小名濱、豊間、江名、泉）▲八班入遠野（上遠野、入遠野）▲九班植田（植田、山田、錦）▲十班勿來（勿來、川部、田人）

日星製作所誕生

小名濱日製工場を買收　廿一日に操業開始

小名濱で新威力

終戰後閉鎖をみてゐた日立製作所小名濱工場はその後幾多の更生策等が傳へられてゐたが今度資本金六百萬圓で〃株式會社日星製作所〃として新に誕生、二十一日から操業を開始することに決定した、製作品は日立製作所の下請品及び、水産關係の機械鑄物類一切の製造並に修理で、水産福島の中心勢力をなす〃みなと小名濱〃に一大偉力を加へるものと大きな期待をかけられてゐる、尚新會社の重役陣は三代義勝（小名濱）谷山義親（日立側）村松隆二（同）綿引巖（同）佐々木繁太郎（小名濱）原徹（平）の顔觸れとあり、社長は三代義勝氏と內定されたが、再三再四の交渉にも拘らず三代氏が固辭してゐるので未決定のまゝ一應操業を開始することになつたものとある

素人藝能會

湯本青年同志會 防疫基金募集に

湯本町上町上中町青年同志會では湯本町の傳染病撲滅に努めるため防疫基金募集として懸賞付素人藝能大會を開催することになり出演者は二十二日迄上町九頭見屋までどし〳〵申込まれたいと、尚賞金として一等二百圓、二等五十圓、三等三十圓外全員に福引券進呈とあり會催日は三十日湯本座で後援湯本町役場本社湯本支局である

三代氏の義氣

日星製作の與へる示唆

日星製作所の誕生をみるに至つた經過は、終戰後日立製小名濱工場は閉鎖、一切を上げねばならぬ運命に逢着、從業員三百名中三分の二は日立へ歸ることになつたが殘る三分の一百名餘迄居殘りを主張した、日立側も居殘り組に同情、獨立で仕事を開始する場合は工場施設一切を無條件で讓渡することを申渡したが、無償は許されぬ關係上經營資金の点で居殘り組の經營計劃もお流れとなるより外ないことになつた、これを耳にした力印三代義勝氏は同情且つ同工場が解体處分された場合は小名濱町としても一大損失であるとして義侠的に資本金六百萬圓で新會社組織に乗出したもの、從つて株式は一切從業員中から募集、外部から容れず、將來も從業員中で株式所有希望に對しては三代氏を始め重役陣所有株は無條件に株數を限定せず讓渡することになつて居り、この從業員本位の經營形体は勞資問題の新しい指針一大示唆を與へるものであり尚三代氏の犠牲的義氣は從業員始め町からも感激されてゐる

電産闘爭の經過報告

平の東北配電が全炭礦關係者へ

電産闘爭協議會のゼネスト問題は常磐炭田に大きな衝撃を與へ各炭礦は万一の際には關係各發電所及び變電所の實力接收に出づべく全炭礦の電氣關係技術者を待機せしめると共に、臨機の措置に支障を來さしめぬやう異常な緊張振りを示してゐる、然し電産闘爭も決して同じ勞務者階級を無視して徒らに闘爭するものでなく、たゞ單に最惡の場合を考慮しての諸計劃對策が、即時斷行するが如くやゝ誇大に傳へられてゐる傾きがあり、現在の狀勢ではまだ最後の措置に出るところまでは進んで居らず何とか解決の見透しつき得ない狀勢ではないのでこの際余りに炭礦側を刺戟、全産業の原動力增炭に支障あらしめてはならぬと、東北配電平營業所では十九日礦業會を通じ關係各炭礦及び日礦、磐炭聯等の各關係勞組代表の參集を求め今日迄の經過報告をなし諒解を求むるところがあつた

祝福の的　國際結婚

平市四丁目藥品統制會社々宅[illegible]次さん（六一）長男袖山勝伯さん（二五）は去る一日バタビヤから中國人林貴娘さん（二〇）と同伴で引揚げ、十八日市戸籍係を訪れて國際結婚の屆出でをなし祝福の的となつた

袖山さんは航空兵として南方各地で勤務して居つたが、昨年六月バタビヤ病院に入院、こゝで終戰を迎つたが、この時種々手厚い看護をしてくれた林貴娘さんと知合ひ、終戰後相方共行方が判らなかつたが聯合軍の行爲で袖山さんと林貴娘さんが結ばれ內地に引揚げて來たもの、貴娘さんは十八日平に入籍、袖山貴子と性名をかへた

濱三郡素人「のど自慢大會」

廿二日小高鄕青年文化聯盟が

相馬郡小高町小高鄕青年文化聯盟では二十二日同町國民學校に濱三郡素人のど自慢大會を開催する、審査員は大日本民謠研究會の後藤桃水氏、仙臺放送局武田忠一郎氏、ビクター專屬作曲家佐々木俊一氏、民謠研究家渡邊[illegible]氏で入選者は仙臺放送局から放送も許される外一等百圓、二等五十圓、三等三十圓、選外佳作五名に各二十圓宛の金も授けられる、參加資格は老若男女を問はず種目も歌謠曲、民謠、浪曲、詩吟、謠曲その他で一部が午後一時から、二部が午後七時からで申込みは二十日迄とある

古河炭礦の赤痢猖獗

新患更らに十名

好間村古河炭礦の赤痢禍は其の後益々猖獗を極め十八日更に新患者左記十名が發生計五十二名となつた、平署保健所では必死の努力をはらひ炭礦側及び村側と一致して防疫に狂奔してゐる

內村忠一（二三）小川總四郎（一七）五十嵐建[illegible]（二〇）正木孝則（二四）十文字[illegible]（一一）岡部靜子（九ツ）高木信康（一一）瓜田雄一（一四）三浦[illegible]春（二〇）高橋長作（三八）

資金造成成果

四倉町同胞援護會

四倉町同胞援護會支部では資金造成のため鈴木會長及び各委員は十五日町內有志家を訪れ寄附を募つたが總額十四萬四千圓といふ好成績をおさめた

いわき寸言

▼賃金調査の結果にみると從來の能率賃金制は完全に崩壞し生活資金の性格顯著とある物價の抑制されぬ限り、これが阻止は難しく又賃金の鰻上りも抑止は不能

▼電産ゼネストの衝撃の大きさに、東北配電が炭礦關係者の參集を求めて現在迄の經過報告を行つた、眞に機宜に適した處置でありこの親切さを忘るべからず

▼小名濱日製も三代義勝氏の義氣に日星製作所として新發足、その前途多幸なれと祈る、從業員諸君のためにも

▼古河炭礦の赤痢いよ〳〵猖獗を極む恐るべきは病魔一人の不注意が他人に及ぼす迷惑の大きさを考ふべし

湯本防疫基金募集
素人藝能大會
◎懸賞金
一等三百圓 二等五十圓 三等三十圓（外全員に福引券進呈）
◎出演申込
九月二十二日迄 上町九頭見屋へ
◎開催日及場所
九月三十日湯本座
主催 青年同志會
後援 湯本町役場 いわき民報支局

糖分補給所
皆さん体內の糖分は如何です
目下糖蜜あり（非化學甘味）
少量でもお分け致します
平市南町バス停留所前
時々甘い店
電話六八九番

製鑵工
鋲打工
原圖工
取付工
瓦斯切斷工
穴明工
素人工
若干名
◇但し現場出張工事
希望者は履歴書持參本人來談のこと（平勤勞署）
平市西宣町一
合資會社 程塚鐵工所
社長 程塚 公

新設旅館
◎開業◎
静かな、氣分のいい、皆樣のお宿が出來ました
どうぞよろしく
湯本町吹谷八〇番地
綠扇旅館
伊勢屋旅館
はくすい旅館
（電話目下交渉新設中）

日用品交換所
開設致しました
▲御不用の品はどし〳〵出品下さい
▲又は買物依頼の御相談に應じます▲
湯本日用品交換所
常磐線湯本町
（山形屋旅館前）

製品に絕對責任持つ
專門の當店へ
天幕、日除、覆
雨覆、雨合羽
リツクサツク
其他附屬一式
新調 加工 委託 御報參上
平市六丁目六
敷島テント商店

製粉の闇料金を續つて

穀物賃加工組合支部に聽く

最近玉蜀黍、小麥の配給が多くなるにつれて精粉所への日參が多くなつたが夫に伴ひ正規の製粉所の他にもぐりの製粉所も增えて來た、そしてもぐりと正規とを問はず加工賃も上がつて來た、從來と云ふよりも公定加工賃は一升二十五錢？の筈だが現在の相場は五十錢から一圓が普通公價が安過ぎるのは肯定出來るが公然と闇價格を實施してるのはどう云ふ譯か、粉にしてパンや水とんにしなければ喰つて行けぬ現在の配給機構なのに、その製粉さへ闇値を默認してゐる穀物、賃加工業組合なるものは何のためにあるか？同組合石城支部長に實情をきいて見た

不正は明示されたい

手を燒くもぐり業者の增加

最近の食糧事情の窮迫につけこんでもぐりの加工業者が增えた事は事實です、そして統制食糧を加工販賣して多額の利得を占めてゐた事も事實の樣です、組合としてもこの樣な無許可業者のために非常に迷惑してゐます お話しの製粉價格の事も或る人は米三キロ、玉蜀黍三キロの製粉に六圓とられたと云ふ人もあり、フスマ其他で二割は必らず減るが何とかして吳れと云ふ話もきかされますが事實の場所を後難を恐れ？てか場所を敎へて吳れないので困ります、事實は事實として明示して吳れないと私の方でも困ります

認可申請中の

新料金は

糠、フスマ類は委託者の自由に

價格の點は勿論現在の加工賃は余りにも安過ぎるので現在認可申請中で左記の樣にしたいと思つてゐます

▽玄米一斗四圓▽小麥一斗五圓▽大麥一俵十五圓▽雜穀一斗四圓▽押麥、割麥一斗三圓▽雜粉一斗五圓

まだ正式の許可がないので困つて居ります、但し加工賃とは別に加工後のフスマ、糠等は依賴者の自由ですからそれは遠慮なくお持ち歸りになつて戴きたい

加工目減は

貫目單位で

それから是のことですが消費者の方は殆んど升單位にしてますが目減についでは貫匁で調べて下さい、普通小麥一斗は四貫匁ですが古くなると三貫四、五百匁きりないので粉にしてから非常に目方が減つたとか桝で計つて少なくなつたと云ふ方が多い樣ですから其の點良く自分のものを計つて持つて行つて欲しい

他店より良い品を
一錢でも安く!!
百貨の仕入は
平市六丁目大通り
安価自信
卸問屋　さかいや商店
新設電話　四八五番

磐南臨海鐵道

創立發起人會

磐南臨海鐵道株式會社創立發起人會第一回懇談會を十六日小名濱町元加工組合樓上に開催、會社側から其後の經過又浦田小名濱臨鐵取締役から臨港爭議の狀況を報告次いで懇談に移り磐南の資本金は當初の豫定を改め四百万圓を五百萬圓に社債四百万圓を三百萬圓と改むる事になつた旨を說明更らに江名町太淸左衛門氏の質問により平小鐵道の誕生は磐南に影響なき旨も說明最後に株式募集についての懇談會を遂げ急速に募集することゝした

各文化團体の

連絡協議會

廿二日平市に開催

石城文化協會では市郡下の各文化團体の橫の連絡をはかり文化事業の一層の向上發展を期するため、來る二十二日午後一時から平市一丁目石城產婆看護婦學校に市郡下文化團体の連絡議會を開催する尙縣內狀況の文化團体勞組文化部も振つて參加して欲しいとある

音樂部創設

小名濱町文協が

小名濱文化協會では町民の情操敎育のため今後音樂部を新設すると共に去る十四日第一國民學校に初演奏會を開催非常な好評を得たが更らに一層の內容の充實を計る爲に廣く一般の同好者の入會を歡迎するとある

怠ると嚴罰

結社等の屆出は廿日までが期日

政黨及び各種團体結社は今後屆出ねばならぬことゝなつて居りその期日は來る二十日迄とあるにも拘らず、現在迄に屆出たものは僅かに磐城民主人民聯盟と日本社會黨常磐支部との二つのみとある、尙屆出を怠ると嚴罰に處せられるゝから、この際速に該當團体は屆出るやうにと市からの注意

開放

投書を歡迎す
要望批判結構
紙上可匿名

低能生

十三日所載の遞勞生は洗つて見ると困つた事には小生の財政的悲境にある長兄の發作的所爲とわかつた、何れの家庭にも一二は必ずあるものであるが斯る低能生の言と雖も反響を考慮し釋明して置く

×　×　×

去る七日全遞が本省に對し特定郵便局制度の撤廢要求された事は衆知の通りでありまして私は斯る時勢を達觀して光榮ある數代に亘る國家奉仕の結末を寧ろ喜ぶものである即ち吾々の責任は一日一時間の勤務と云ふが如き短時間でなく四六時中數十年に及ぶものであつた事は世の識者の知る所であり特に戰時中又は敗戰後に於ては忍び難い施設から起る大衆の苦情は直接局長の責任呼はりとなり深夜の擲り込み顏役の跳梁等々氣の弱い小生は寧ろ悲鳴を擧げる狀況である

×　×　×

本年度新規電話の架設は利用度の大小及財政的維持力の有無に依つて優劣があると思ふし特に資財提供者に優先せられて居る

×　×　×

上司に依り地方の名望家を以て目せらるゝ特定局長の自己の財政的思慮如何が局務運營に寄與する所は甚大であり特に昨今の物價高に際しては局長の私經濟の優劣が遞信事業運行に影響する所大である事が現在の特定局制度の特徵である

月收二、〇〇〇圓は總經費の誤りと思ふが四十數名の現業に於て筆一本十二、三錢當時そのまゝの經費から局長がいくらの收入を得る事が出來るかは少くとも經營の面に當るものは理解がいくと思ふ

×　×　×

特定局長の政治性は認めらるゝ所であり特に過度的民主化に於て顏役の反省を促し大衆の中に解け込んだ局務運營の施策こそ最も望ましいものと思ふ

×　×　×

昨秋の磐中對平商の敗戰が齎らした青春的衝突事件の中心人物（不良ではない稀に見る優等生）の學園復歸を歎願したが磐中現校長に拒否され困つたのは當方で學校は少しも困りはなかつた茲に冷嚴鐵の如き寧ろ軍國的色彩のある封建的母校の敎育方針には賛意を表し得ない事を附記する

（湯本町鯨岡實寄）

生活と文化

西鶴と近松

—作品を通じてその戀愛觀をみる—

千輝かつみ

元祿時代は日本に於ける偉大なるルネッサンスの時代であつた。長い間、抑へられてゐた平民階級が初めて情意的に解放されてそこに新しい觀樂と藝術とを見出したのである。彼等の歡びはそれが當時の遊廓や、男女關係の上に、さながら現はれた、蓋し知識生活の解放は未だ許されなかつた時代であるから、彼等は情的生活の上に解放されただけで滿足せねばならなかつた。この情熱を自然のまゝに奔放ならしめ自由ならしめる天地は主として、遊廓であつた。この天地へ來ると武士階級の特權も利き目がなくて平民階級の飛躍するにまかせるといつた趣であつた。

それで平民階級は誰も彼も遊廓の天地に赴いて江戸の吉原、京都の島原、大阪の新町や北新地が非常に繁昌してゐた。遊蕩者の代表的人物ともいふべき奈良茂や紀文が出た。必竟元祿期の平民階級はその屈托のない、晴れ〴〵した情思や、奔放の本能の欲求や湧きあがるやうな遊蕩氣分を滿足させることに熱中した。左樣した世界に現はれた戀愛は主として本能の勝利を意味してゐた。

だが遊廓を離れて家庭に入ると、たとへ戀愛がどんなに白熱してゐても家といふものに附隨してゐる慣例や常套的社會道德のためにそれが制限されたり抑へつけられたりせねばならなかつた。習慣の力、道義の力、左樣したものが割合に强く時として絕對的にも强かつた元祿期にあつては若い青春の人々は往々その奔放な戀愛の流れに壓抑されたりして、それが極度に進むと情死の境へ踏み込むことにもなつた。元祿期に入つて情死が多くなつたのは自然の勢であつた。

斯うした元祿時代に同じく生れた近松門左工門巢林子と井原西鶴が描いた戀愛が殆んど正反對にあるといふことは興味深い現象である。特に同じ大阪にゐて同じ戀愛をみてゐた二人の描くところが異つてゐたのは二人の人柄や心持などの相違であつたらうと信ずる。

即ち西鶴は戀愛を科學的に見て、戀愛にからまりついた赤裸々の性慾の姿を描き、寧ろ戀愛の眞相に肉迫して、その性的方面を力强く摑まうとしてゐるのに對し、近松は飽迄詩人的である。近松は戀愛の美しい方面のみを眺め醜い方面はみない。戀愛の美しい純な方面のみを是認肯定し、人生に於ける美的現象として戀愛をみて、その力强い生命力を認め、これを讚美、詠嘆してゐるのである。換言するならば西鶴は冷かな透徹した眼で戀愛を見て、それをそのまゝ人の前に投げ出してゐるのに、近松は先づ戀愛に同感、暖かい眼でそれをみて、その見たところを美化して人に示してゐる。があるといへる。見方の相違は軈てその態度の相異となつてゐる。

入門

…乞食文學…

野留生

乞食に哀れなるのと頑强なのとがある。前者は誰にも同情せられ乞食としては典型的タイプである。もらひ物など後者の比ではない、乞食になりはじめの者は誰でも前者たらんと腐心する。夜廣に吹き出物をつくる。女の乞食は一日幾錢かで誰の子とも知らぬ赤子を借りて來る。五体の滿足せるに松葉杖をつきいざりの眞似をし、盲啞になりすます。終日あたり道路の側面に頭を垂れて神妙なる顏付をなし居るは、かゝる類、すべて前者。併し後者と言へども乞食なる以上前者の眞似をせねば遂の昔にのたれ死、死なずに生きてゐるところを見ればあざやかなる兩刀使ひ、實に乞食道の修養？）は一通り二通りの苦勞ではない。併しそうした苦勞を知らずに過ごして來たのが久叔父である。彼は乞食仲間の例外である。緣日に稼いだ例しなく、物乞ひに他人の軒下に立つたことは更にない、たゞ彼には相當の財產と一人の愛人とがある、愛人は乞食ではない、良家の子女であり久叔父にとつては唯一の社會へのつながりである。

或る晚私は公園の橫穴に久叔父を訪ねた、乞食の話は果てしない、どれもこれもが話の種、どこそこのお內儀さんは顏に五つのホクロがあるとか、どこそこのは家へも行かぬに腹が大きいとか、どこの未亡人は誰と關係してゐるとか、あそこの息子は大學を出たのに昨夜寢小便をしたとか、およそくだらないと名のつくものは何でも詳しく知つてゐる。

カメラと
寫眞材料部新設
カメラ高價ニ藏キマス
小名濱町役場前
田中寫眞場

眼鏡
專門
各眼科醫療指定
玉屋
平市二丁目
視力試驗設備が有ります
進む文化に守る視力

粘土瓦の
御用と工事請負
營業案內
塗料
油脂
自動車
木工塗料
『特ニス』特約店
福島縣屋根工事株式會社
石城出張所
古川興業有限會社